

施23第500号

越中大門こ線橋2号新設他詳細設計業務委託

設 計 図（土木の部）

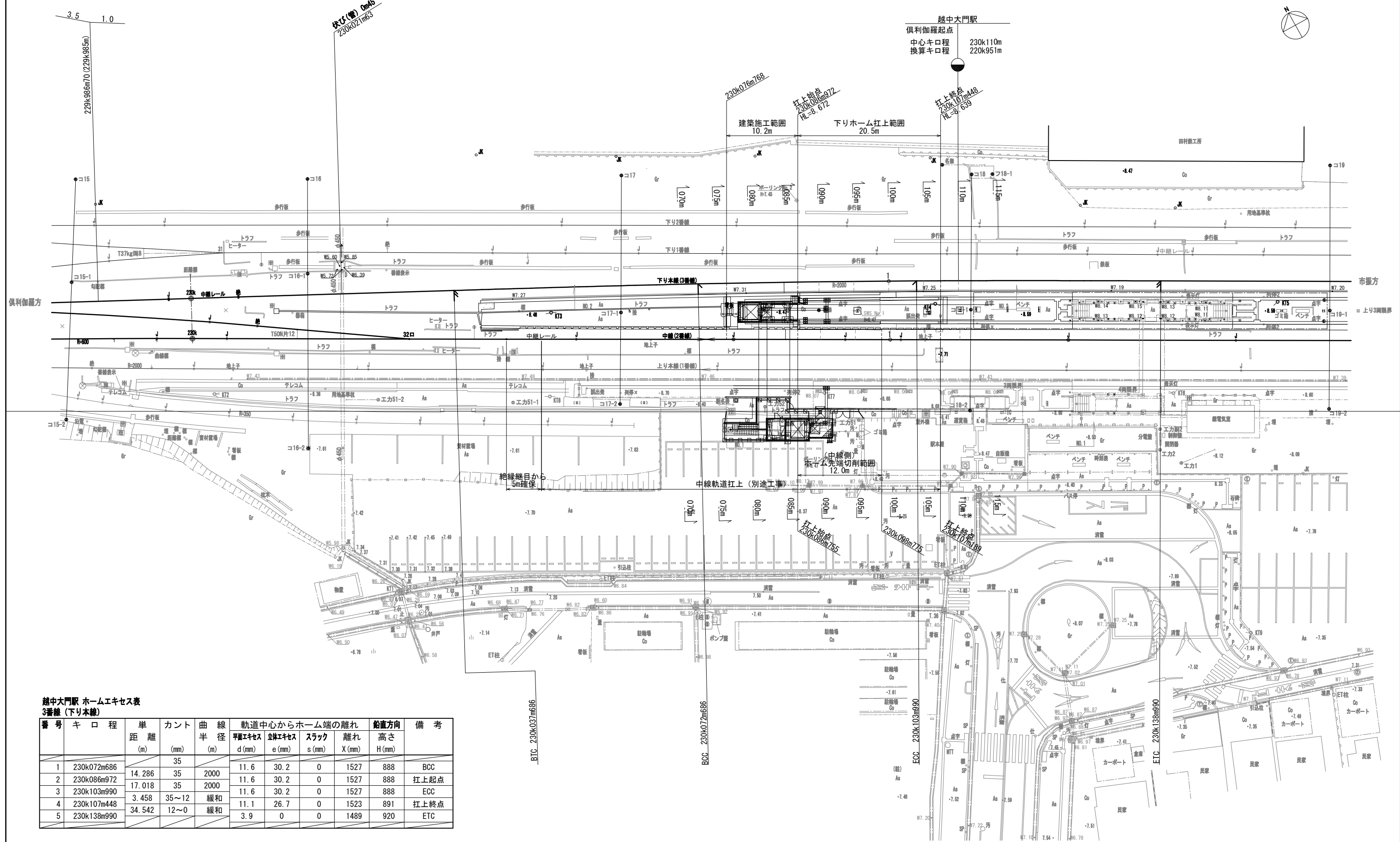
2024 年 8月

あいの風とやま鉄道株式会社
ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社

目 次

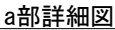
[illegible][illegible]

全体平面図 S=1/250



越中大門駅 ホームエキセス表
3番線 (下り本線)

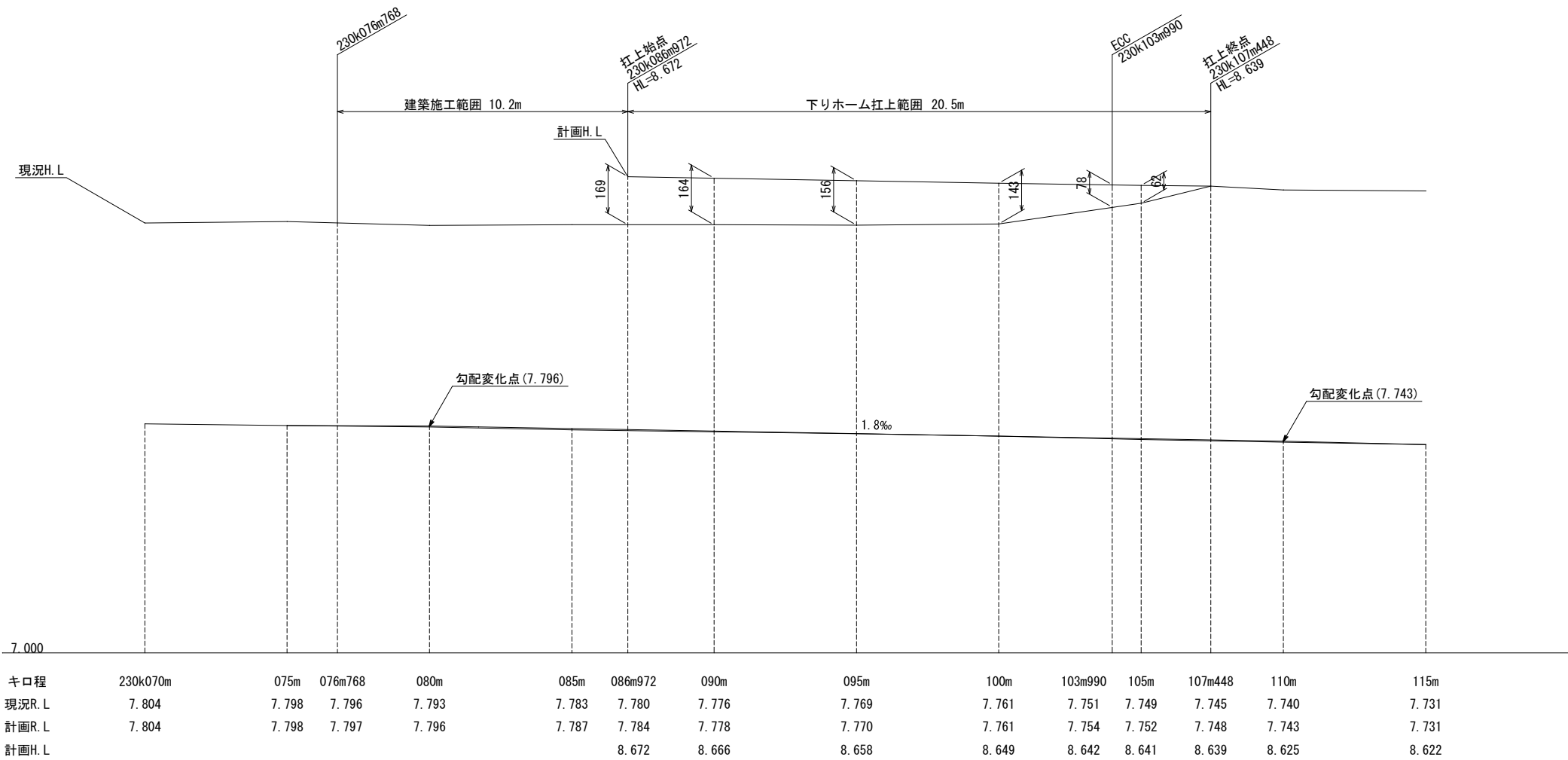
番 号	キ ロ 程	単 距 離 (m)	カント (mm)	曲 線 半 径 (m)	軌道中心からホーム端の離れ				鉛直方向 高 さ H (mm)	備 考
					平面エキセス d (mm)	立体エキセス e (mm)	スラック s (mm)	離れ X (mm)		
1	230k072m686		35		11.6	30.2	0	1527	888	BCC
2	230k086m972	14.286	35	2000	11.6	30.2	0	1527	888	打上起点
3	230k103m990	17.018	35	2000	11.6	30.2	0	1527	888	ECC
4	230k107m448	3.458	35~12	緩和	11.1	26.7	0	1523	891	打上終点
5	230k138m990	34.542	12~0	緩和	3.9	0	0	1489	920	ETC



$$S=1/100$$


特 記	(注)	 ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社  あいの風とやま鉄道株式会社	あいの風とやま鉄道株式会社	工 事 名	越中大門こ線橋2号新設他工事					
	・中線側は軌道柱上（別途工事）を計画している。			図 面 名	計画平面図					
	・計画横断勾配は、1.5%以内で計画している。実施時点での横断勾配について相違があれば監督官の確認を受け承認を得ること。			SCALE	A1:1/100 A3:1/200					
	・中線の軌道こう上および下り本線の軌道整備後の線路を基準に計画ホーム端部の位置・高さを現地で調整すること。			設計番号	000-0000					

線路縦断面図（その１）
H=1/100
V=1/10

下り本線（3番線）

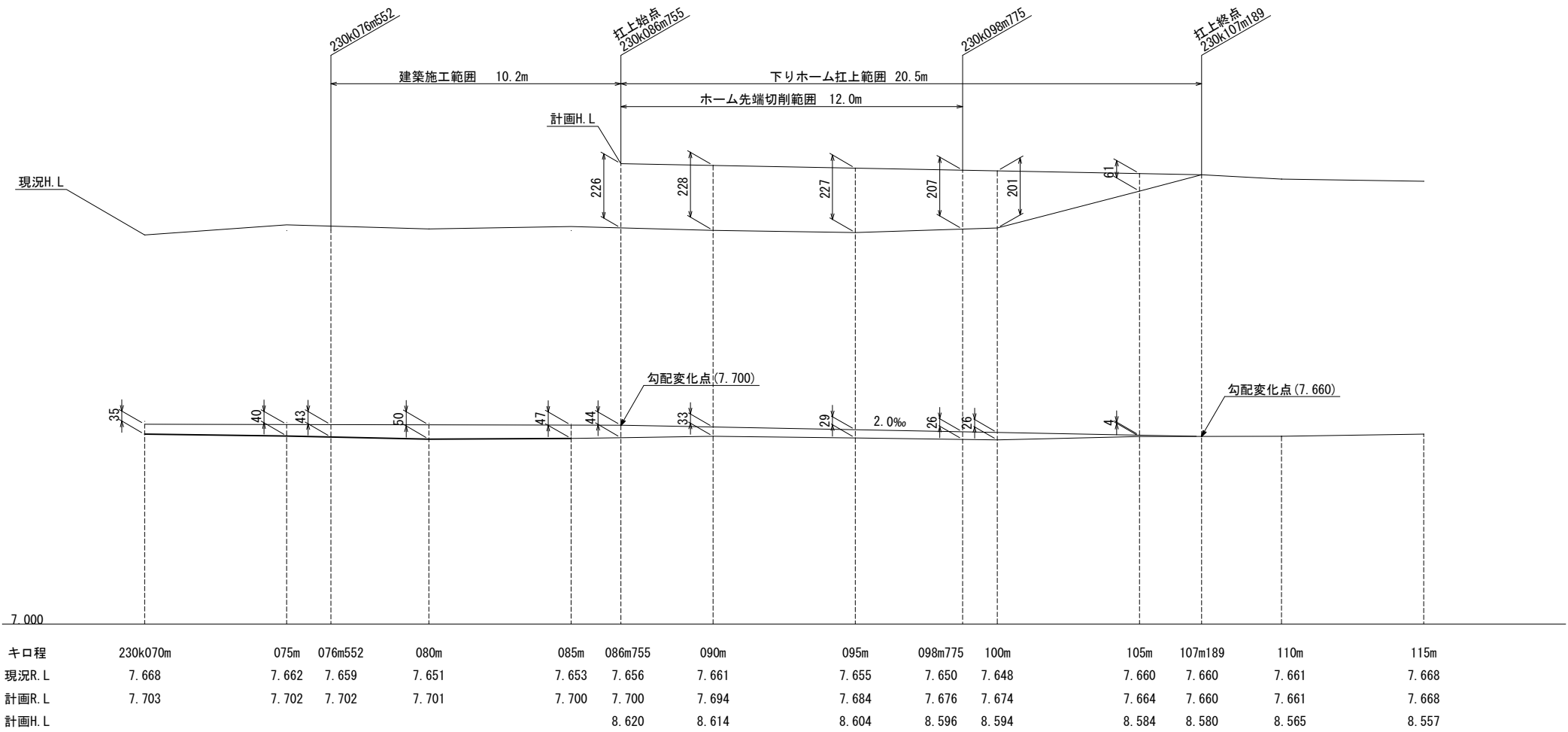


特 記	(注)				ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社		あいの風とやま鉄道株式会社	工 事 名		越中大門こ線橋2号新設他工事					
	・中線側は軌道扛上（別途工事）を計画している。							図 面 名		線路縦断面図（その1）					
	・中線の軌道こう上および下り本線の軌道整備後の線路を基準に計画ホーム端部の位置・高さを現地で調整すること。							SCALE		A1:H=1/100 A3:H=1/200 V=1/10 V=1/20					
		設計番号	000-0000												

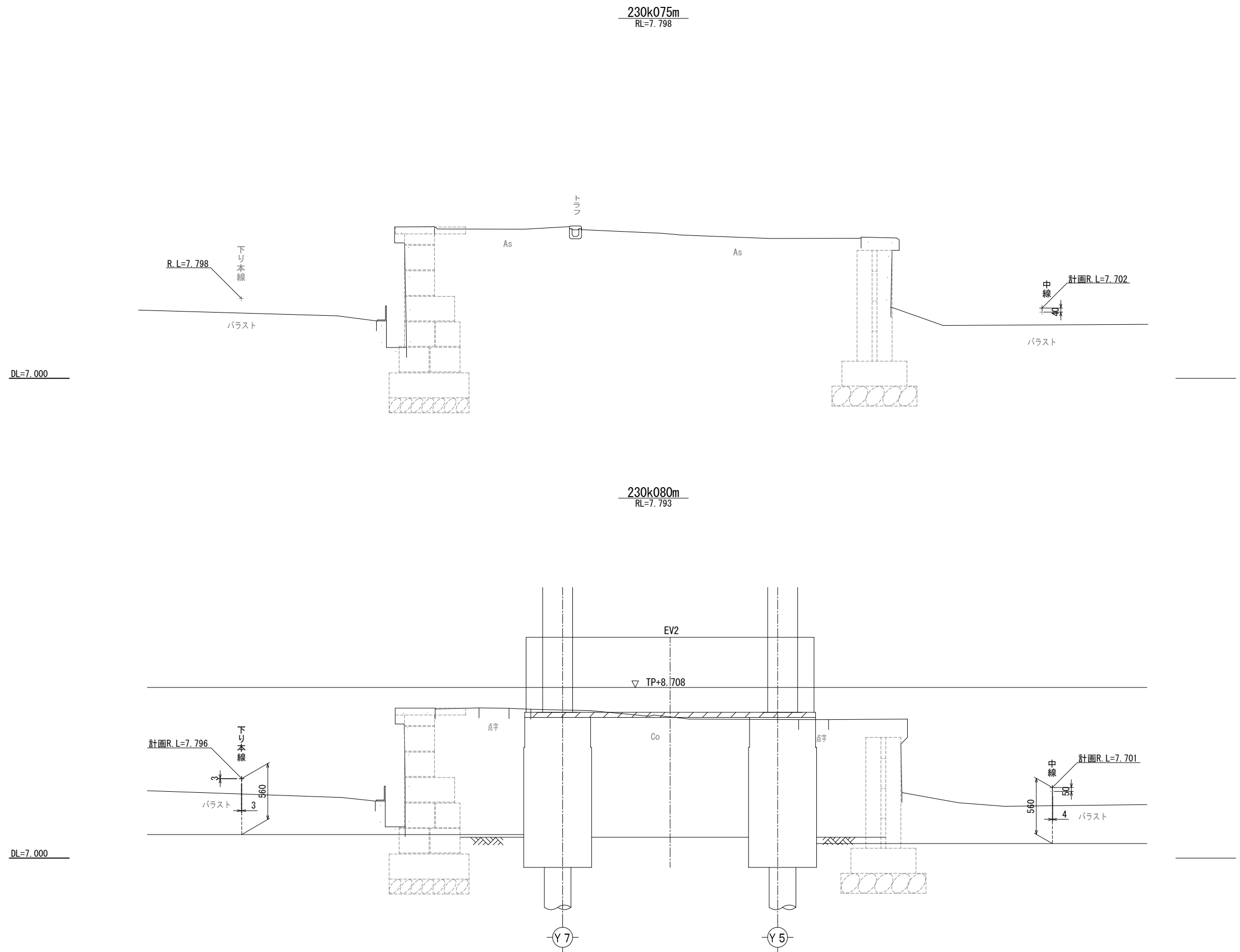
設計番号 000-0000



線路縦断面図（その2）
H=1/100
V=1/10

中線（2番線）



計画横断図（その１） S=1/20





特記	(注)	 ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社	 あいの風とやま鉄道株式会社	工事名	越中大門こ線橋2号新設他工事					
	・ホーム擁壁は推定した形状であるため、破線で描いている。			図面名	計画横断図（その１）					
	・中線の軌道こう上および下り本線の軌道整備後の線路を基準に計画ホーム端部の位置・高さを現地で調整すること。			SCALE	A1:1/20 A3:1/40					

$$S=1/20$$

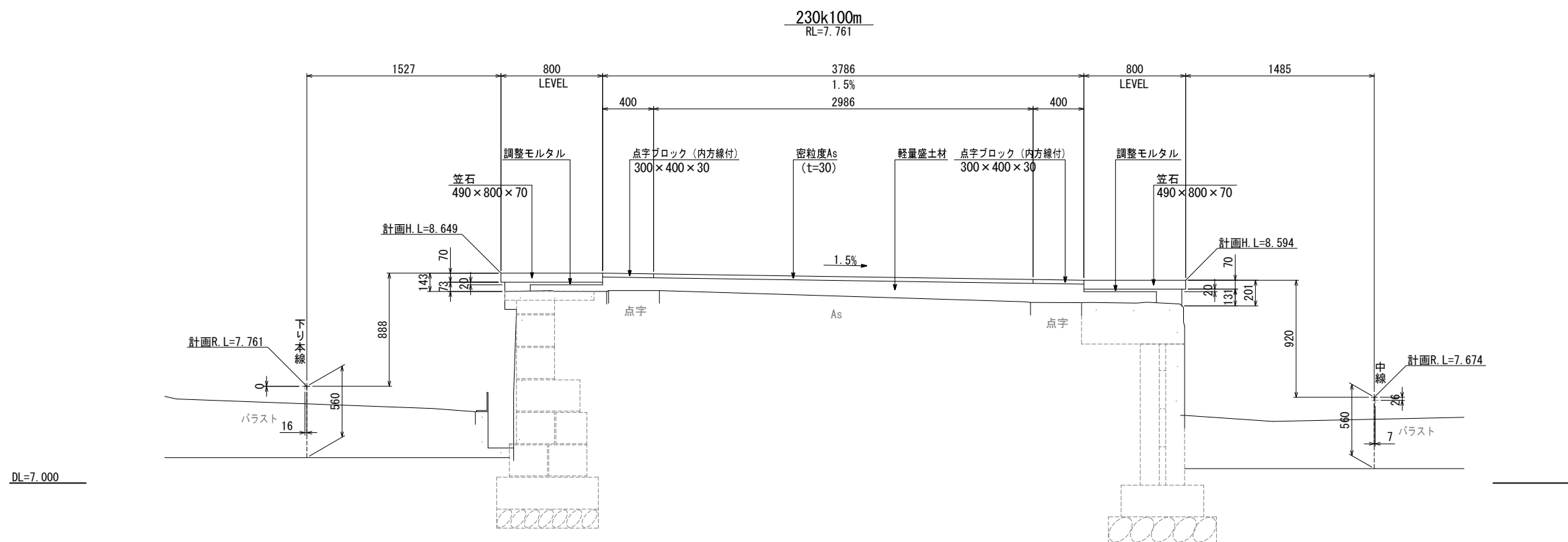
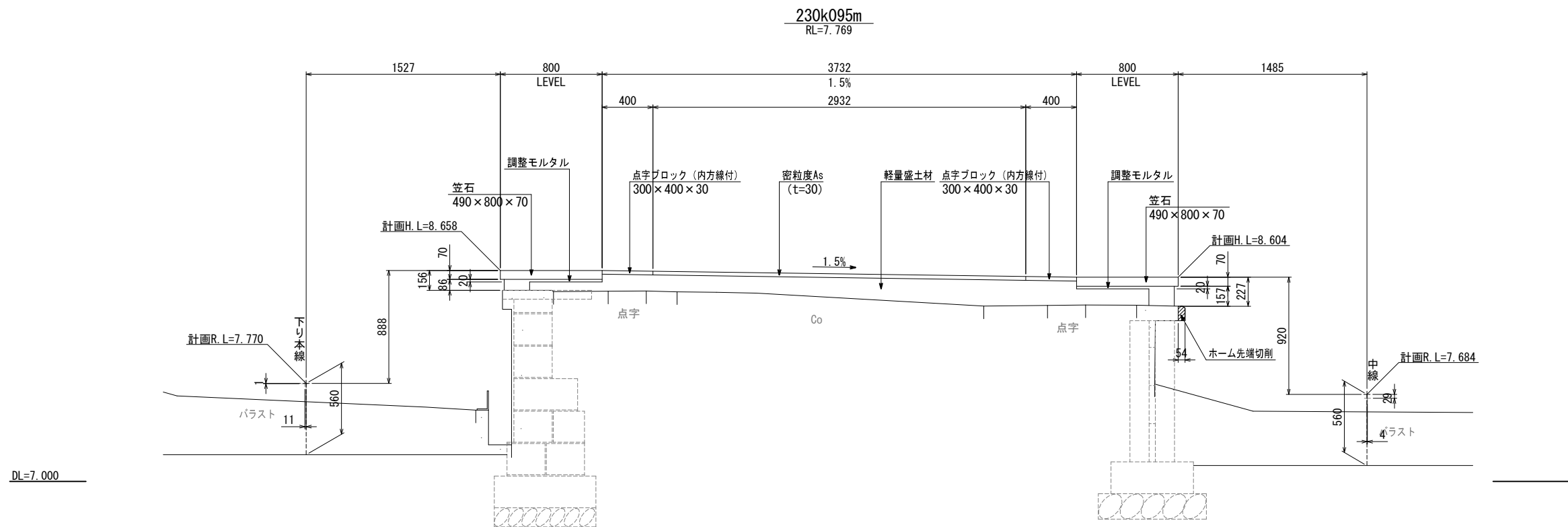
RL=7.783





DL=7.000

特 記	(注)											ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社		あいの風とやま鉄道株式会社	工 事 名		越中大門こ線橋2号新設他工事											
	・中線側ホーム建築限界に既設笠石が支障する場合は切削すること。														図 面 名		計画横断面（その2）											
	・既設盛土の荷重増加を低減するため軽量盛土材を選定している。材料使用にあたっては監督員の確認を受けて施工すること。														SCALE		A1:1/20 A3:1/40											
	・中線の軌道こう上および下り本線の軌道整備後の線路を基準に計画ホーム端部の位置・高さを現地で調整すること。																											
															設計番号	000-0000												


計画横断図（その3） S=1/20



特記	(注)		ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社		あいの風とやま鉄道株式会社	工事名	越中大門こ線橋2号新設他工事			
	・中線側ホーム建築限界に既設笠石が支障する場合は切削すること。					図面名	計画横断図（その3）			
	・既設盛土の荷重増加を低減するため軽量盛土材を選定している。材料使用にあたっては監督員の確認を受けて施工すること。					SCALE	A1:1/20	A3:1/40		
	・中線の軌道こう上および下り本線の軌道整備後の線路を基準に計画ホーム端部の位置・高さを現地で調整すること。									

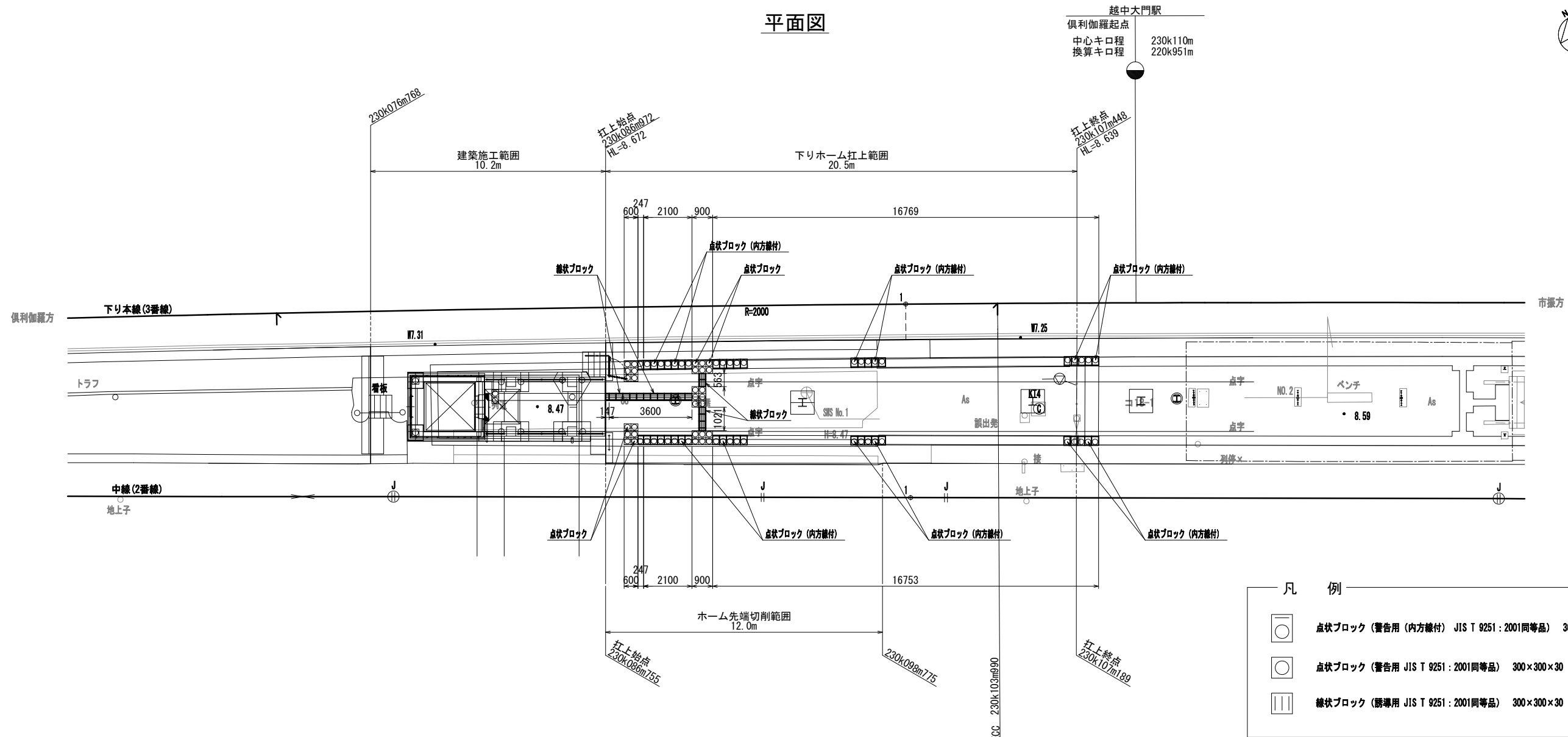
設計番号 000-0000

$$S=1/20$$


特 記	(注)											ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社		あいの風とやま鉄道株式会社	工 事 名		越中大門こ線橋2号新設他工事											
	・中線側ホーム建築限界に既設笠石が支障する場合は切削すること。														図 面 名		計画横断面（その4）											
	・既設盛土の荷重増加を低減するため軽量盛土材を選定している。材料使用にあたっては監督員の確認を受けて施工すること。														SCALE		A1:1/20 A3:1/40											
	・中線の軌道こう上および下り本線の軌道整備後の線路を基準に計画ホーム端部の位置・高さを現地で調整すること。																											
															設計番号	000-0000												

点字ブロック配置参考図 S=1/100

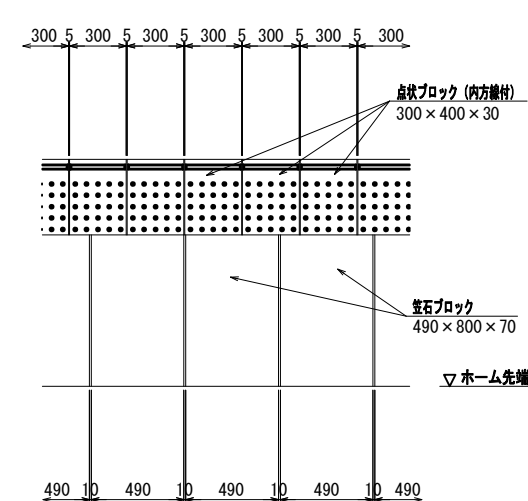
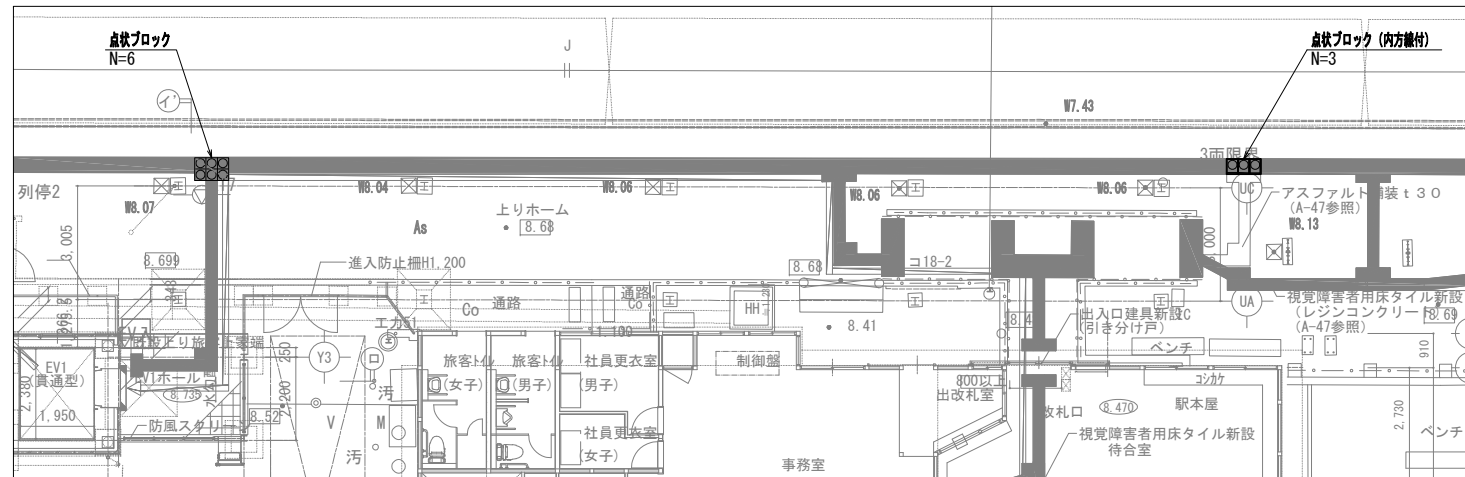
平面図



上りホーム平面図 S=1/100

標準割付図 S=1/20

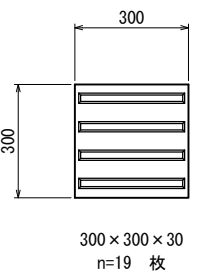
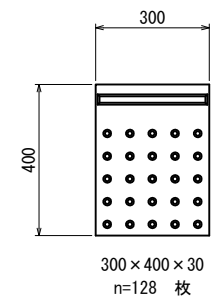
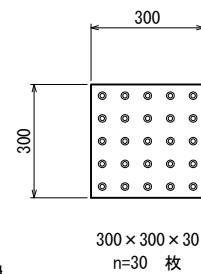
凡 例	
	点字ブロック (警告用 (内方線付) JIS T 9251 : 2001同等品) 300×400×30
	点字ブロック (警告用 JIS T 9251 : 2001同等品) 300×300×30
	線状ブロック (誘導用 JIS T 9251 : 2001同等品) 300×300×30



点字ブロック S=1/10

点字ブロック (内方線付) S=1/10

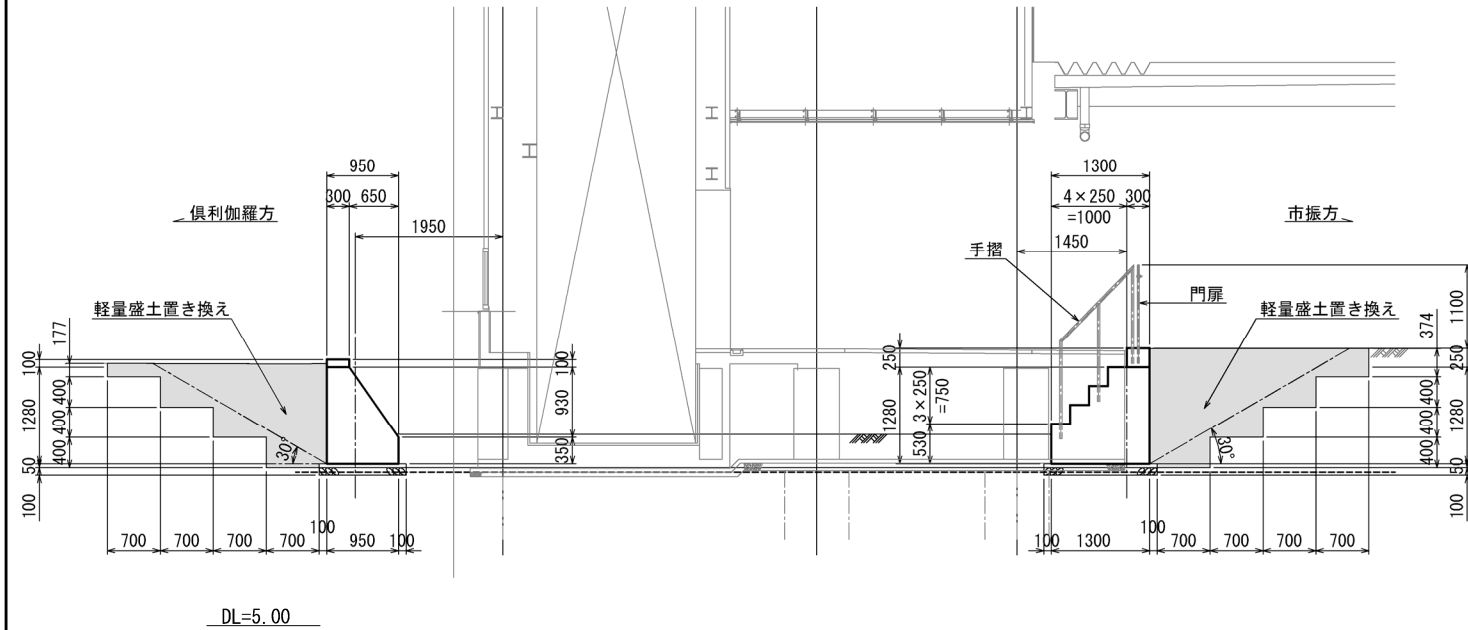
線状ブロック S=1/10



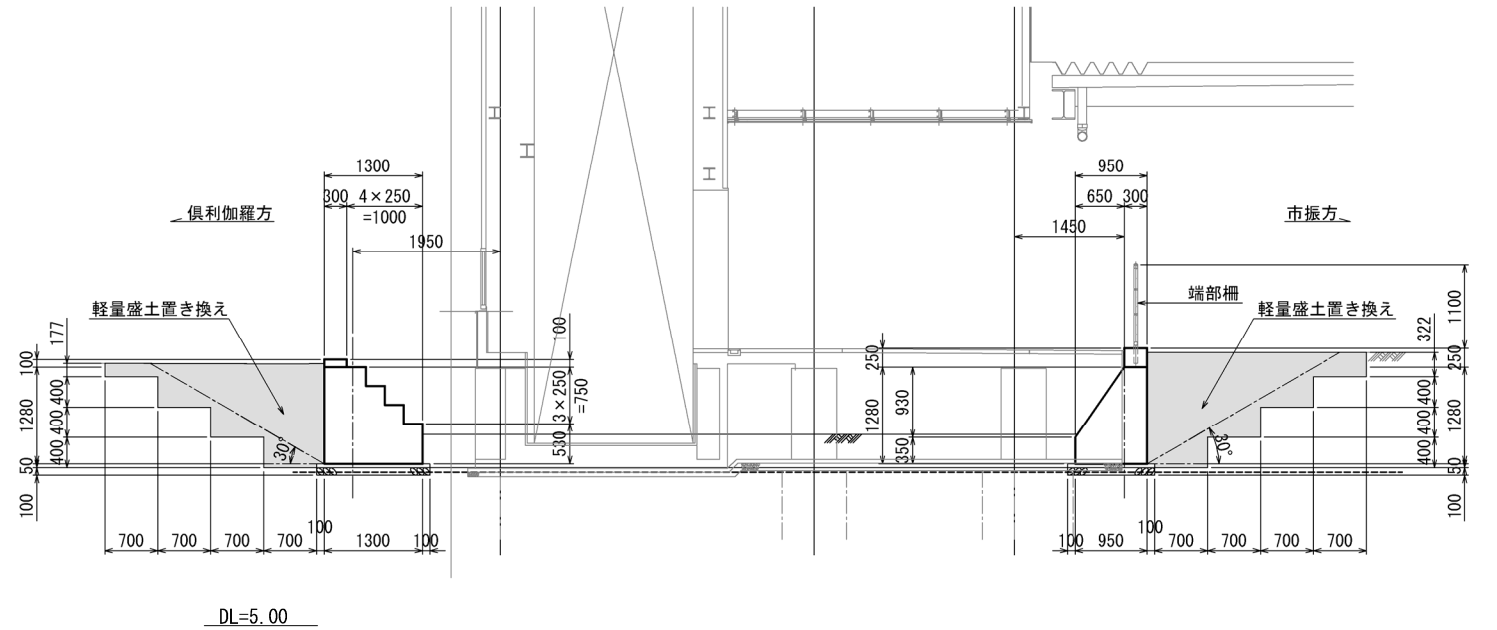
特 記			ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社		あいの風とやま鉄道株式会社	工 事 名	越中大門に線橋2号新設他工事			
						図 面 名	点字ブロック配置参考図			
						SCALE	A1:1/100 A3:1/200			

ホ-ム端部土留め擁壁一般図（その１） S=1/50

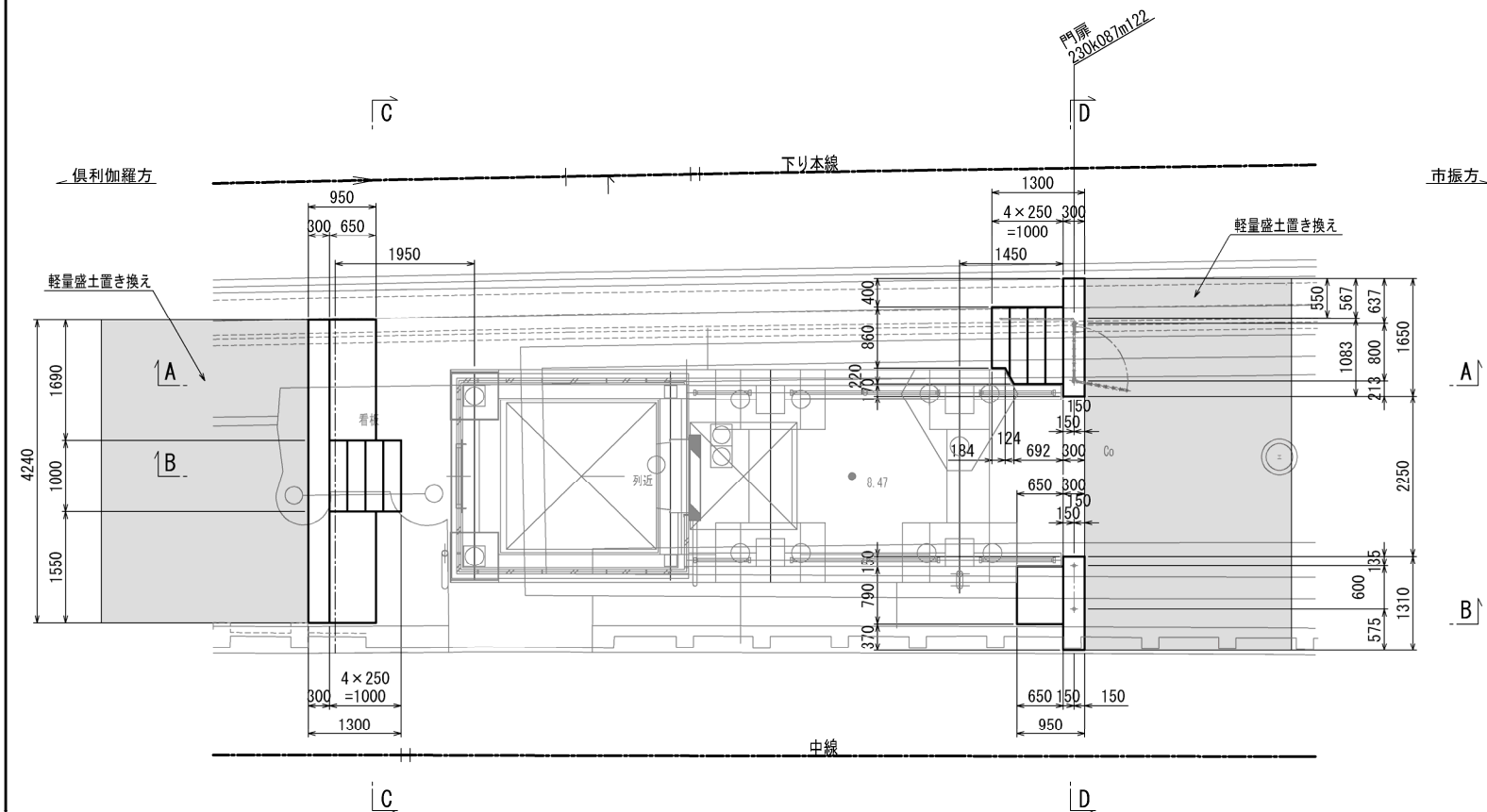
断面 A—A



断面B-E



平面



設計条件

設 計 年 度		2024年度
設 計 耐 用 年 数		100年
構 造 物 の 環 境 条 件		一般環境
コンクリート	種 類	普 通
	設 計 基 準 強 度	18 N/mm ²
	粗骨材の最大寸法、() は碎石	40mm
	最大水セメント比	60 %
鉄筋	種 類	SD295
	許 容 引 張 応 力 度	180 N/mm ²
背面土	単 位 重 量	4kN/m ³
	内 部 摩 擦 角	40°
埋戻土	単 位 重 量	18kN/m ³
	内 部 摩 擦 角	35°
耐震設計	設 計 想 定 地 震 動	L1地震動
	耐 震 性 能	——
	応 答 値 の 算 定	——

主な適用基準

- ・建造物設計標準解説 [基礎構造物] (S61.3)
- ・建造物設計標準解説 [抗土圧構造物] (S61.3)

特記

(注) ・擁壁高さ及び上面形状は、軌道線形(縦断線形)調整後、ホーム高さ・横断形状を確認後に調整する



ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社



あいの風とやま鉄道株式会社

工 事 名 越中大門二線橋2号新設他工事

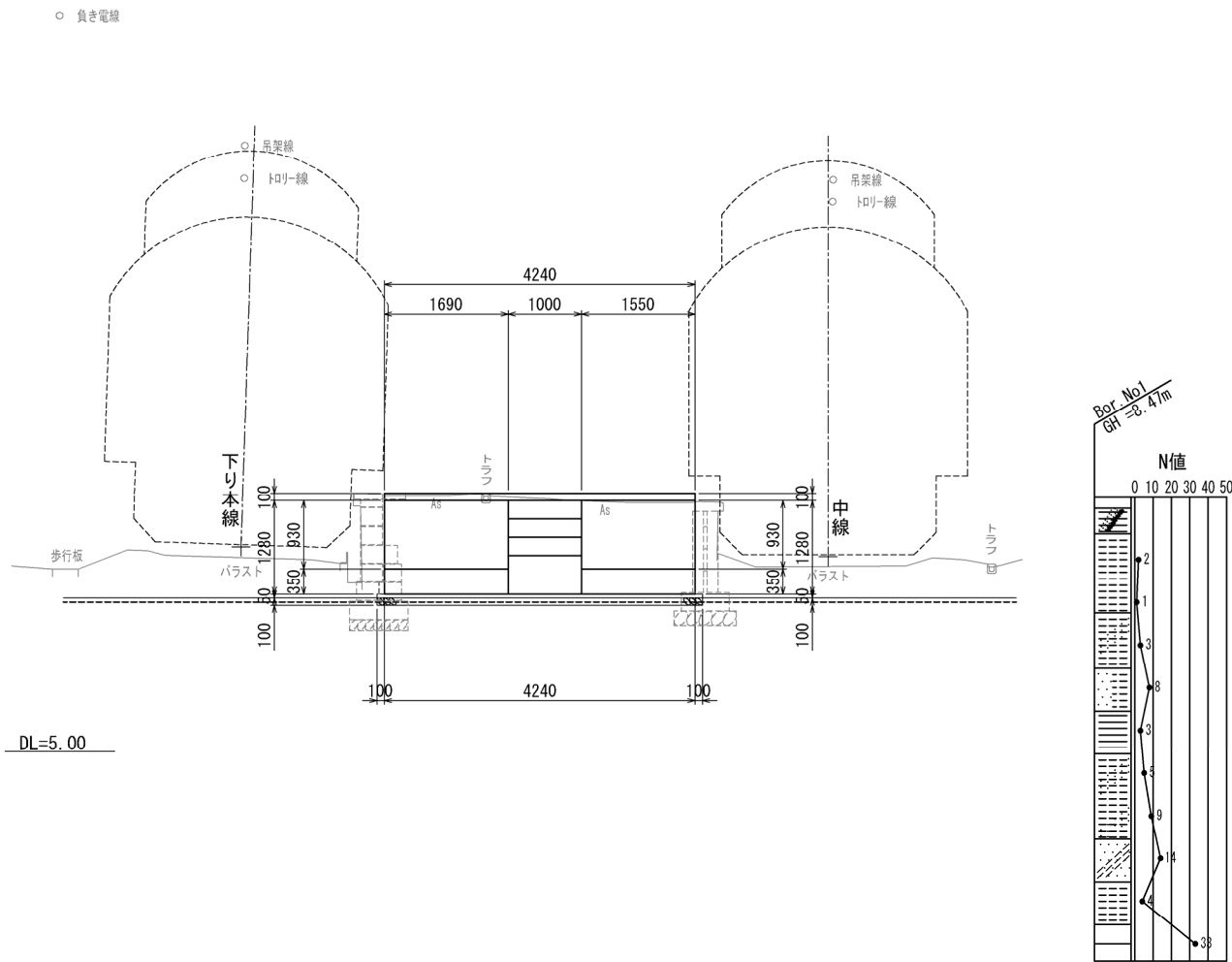
図 面 名 ホーム端部土留め擁壁一般図 (その 1)

SCALE A1:1/50 A3:1/100

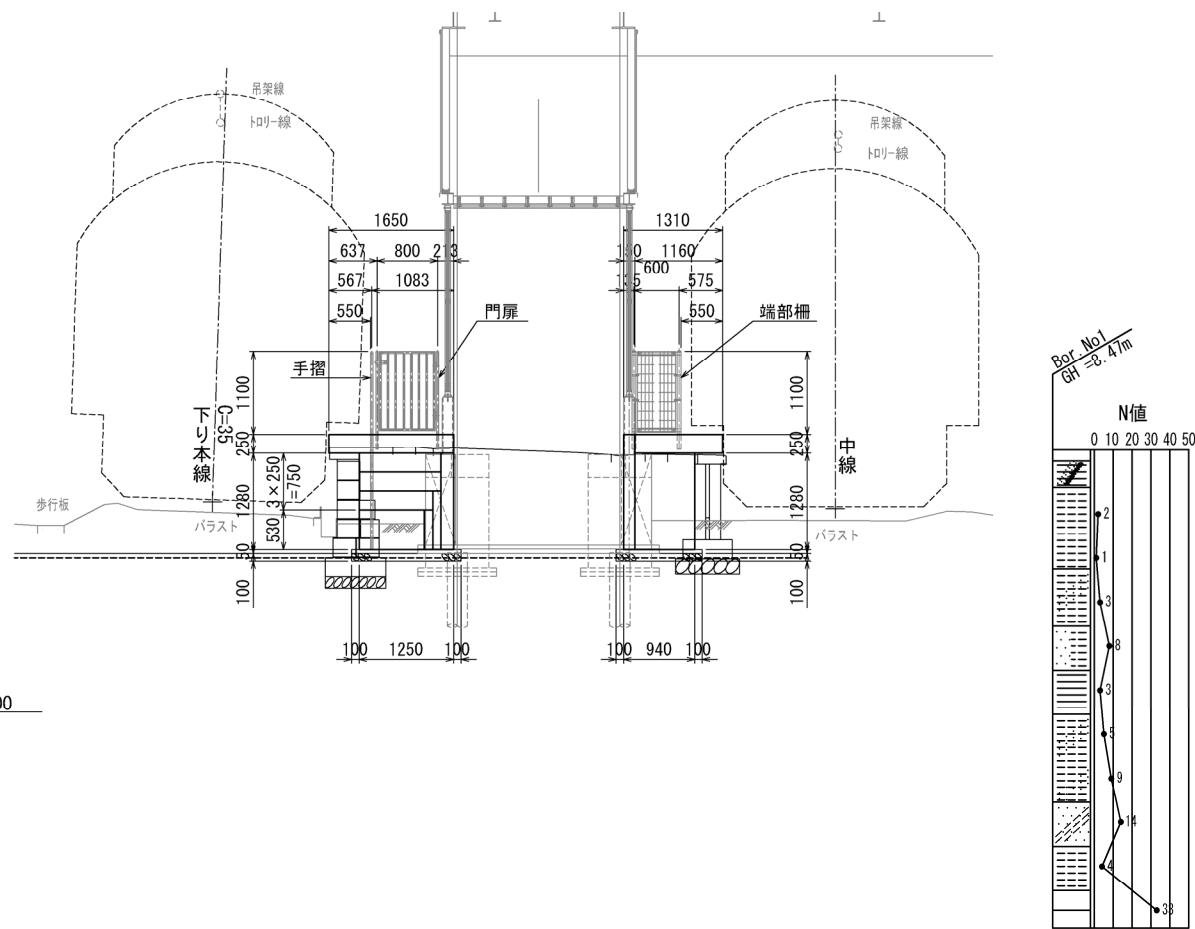
設計番号	000-000
------	---------

ホーム端部土留め擁壁一般図（その2） S=1/50

断面C-C



断面D-D



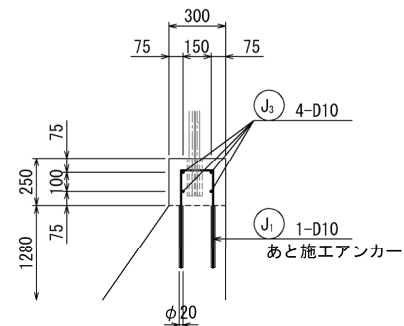
特記	(注)		ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社		あいの風とやま鉄道株式会社	工事名	越中大門二線橋2号新設他工事				
	・擁壁高さ及び上面形状は、軌道線形（縦断線形）調整後、ホーム高さ・横断形状を確認後に調整する。					図面名	ホーム端部土留め擁壁一般図（その2）				
						SCALE	A1:1/50 A3:1/100				

設計番号 000-0000

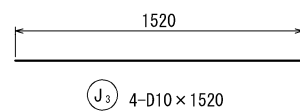
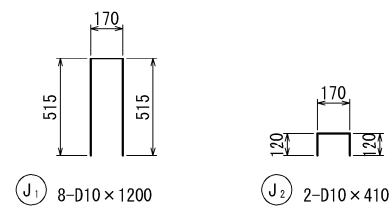
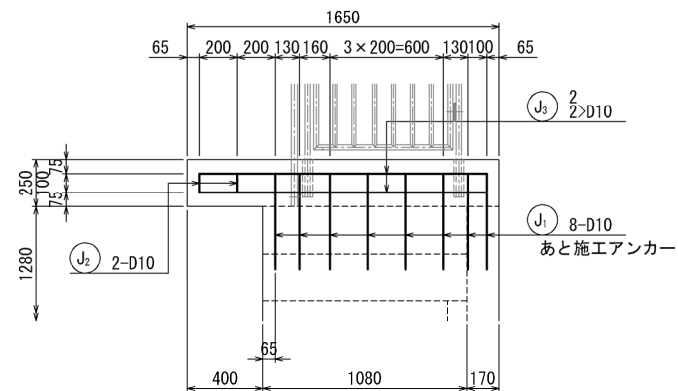
地覆配筋図 S=1/20

下り本線側

断面図

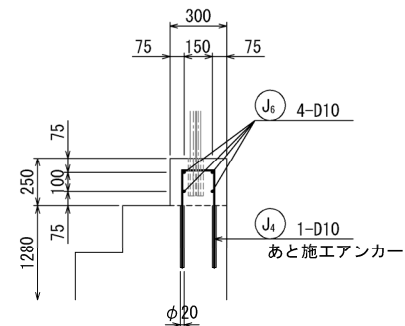


側面図

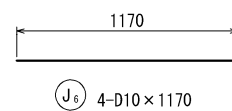
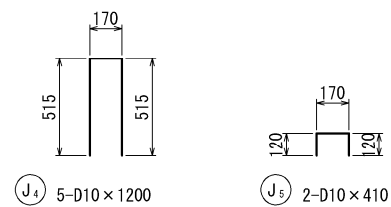
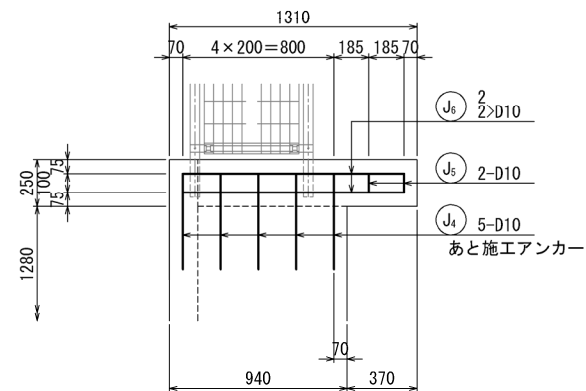


中線側

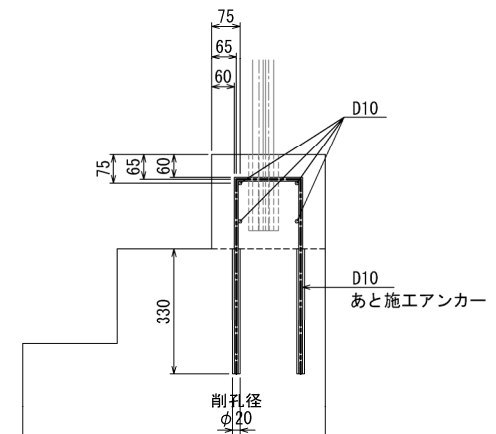
断面図



側面図



かぶり詳細図 S=1/10



材料表

種別	径(mm)	長さ(m)	本数	単位質量(kg/m)	一本当り質量(g)	質量(kg)	摘要
下り本線側							
J	1 D10	1 200	8	0.56	672	5.4	□
	2 D10	410	2	0.56	230	0.5	□
	3 D10	1 520	4	0.56	851	3.4	—
鉄筋質量(SD295) D10 9.3 kg							
中線側							
J	4 D10	1 200	5	0.56	672	3.4	□
	5 D10	410	2	0.56	230	0.5	□
	6 D10	1 170	4	0.56	655	2.6	—
鉄筋質量(SD295) D10 6.5 kg							

特記



ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社

あいの風
とやま鉄道

あいの風とやま鉄道株式会社

工事名	越中大門二線橋2号新設他工事
-----	----------------

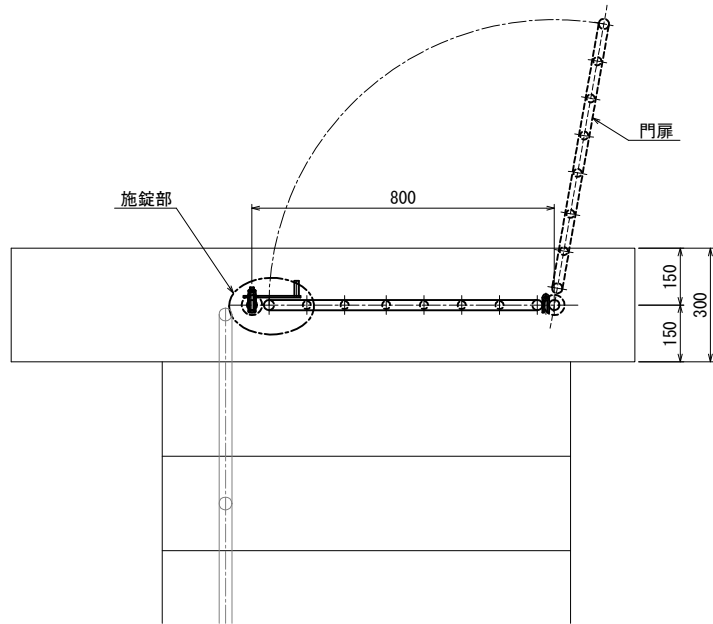
图 面 名	地覆配筋图
-------	-------

SCALE A1:1/20 A3:1/40

門扉参考図

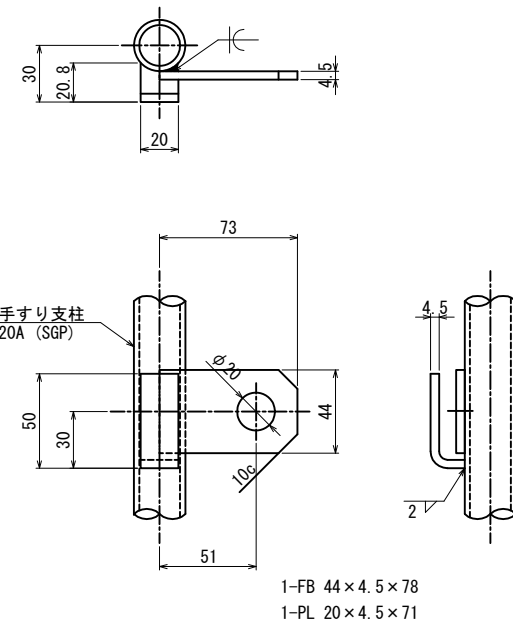
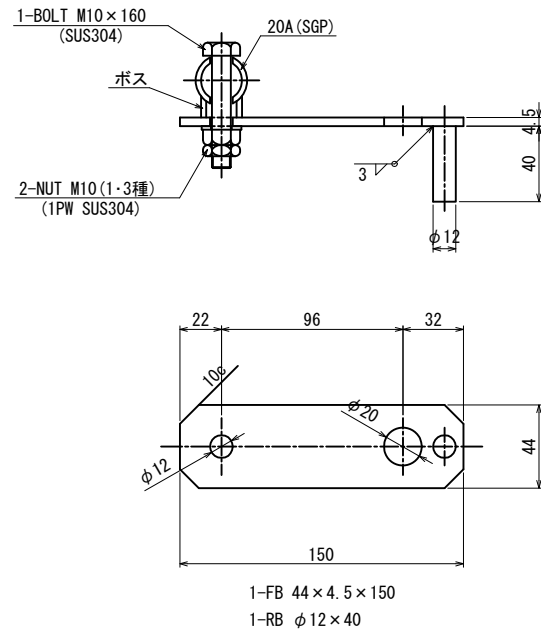
S=1/10

平面図



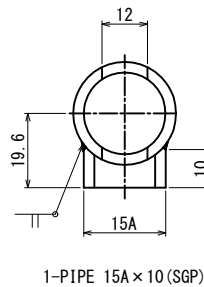
施錠部詳細

S=1/2



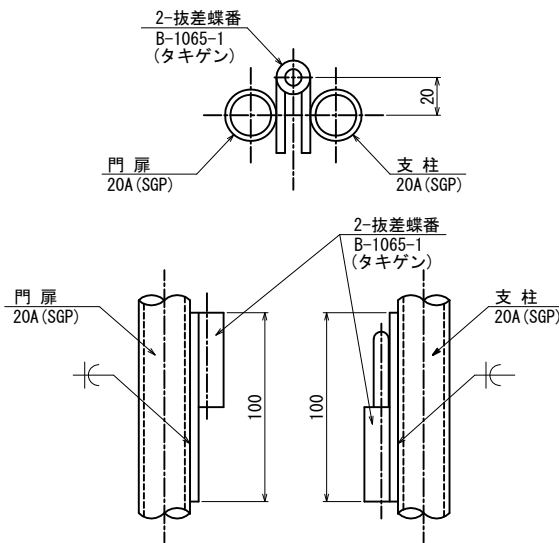
ボス部詳細

S=1/1



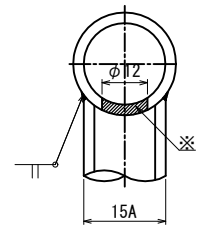
拔差蝶番取付部詳細

S=1/2



a部詳細

S=1/1



※ 20Aと15Aの接合部の20Aにφ12の内部孔(貫通孔)をあける。

溶融亜鉛めっきに関する注意

- ・溶融亜鉛めっきは、「鋼鉄道橋規格 (SRS02)」によりめっきを施す。
- ・めっき処理の方法は、JIS H 8641 (溶融亜鉛めっき) による。
- ・めっき規定膜厚は下記による。

部 材	記 号	膜厚(μm)
厚さ5mmを超える鋼部材	HDZT 77	77 以上
厚さ3mm以上、5mm以下のグレーチング、ガス管等の鋼部材	HDZT 63	63 以上
普通ボルト、ナットおよび座金	HDZT 49	49 以上

追 加 仕 様
溶融亜鉛めっきに関するJIS規格(JIS H 8641, JIS H 0401)によりめっきを施すものとする。

- 注 1 : 特記なき材質はSS400を示す。
注 2 : 特記なきスカーラップはR=30とする。
注 3 : 各寸法は現場測量の上、監督員に確認のうえ施工すること。
注 4 : ホーム門扉は起終点に設置する。

特 記

設計番号 000-0000



ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社



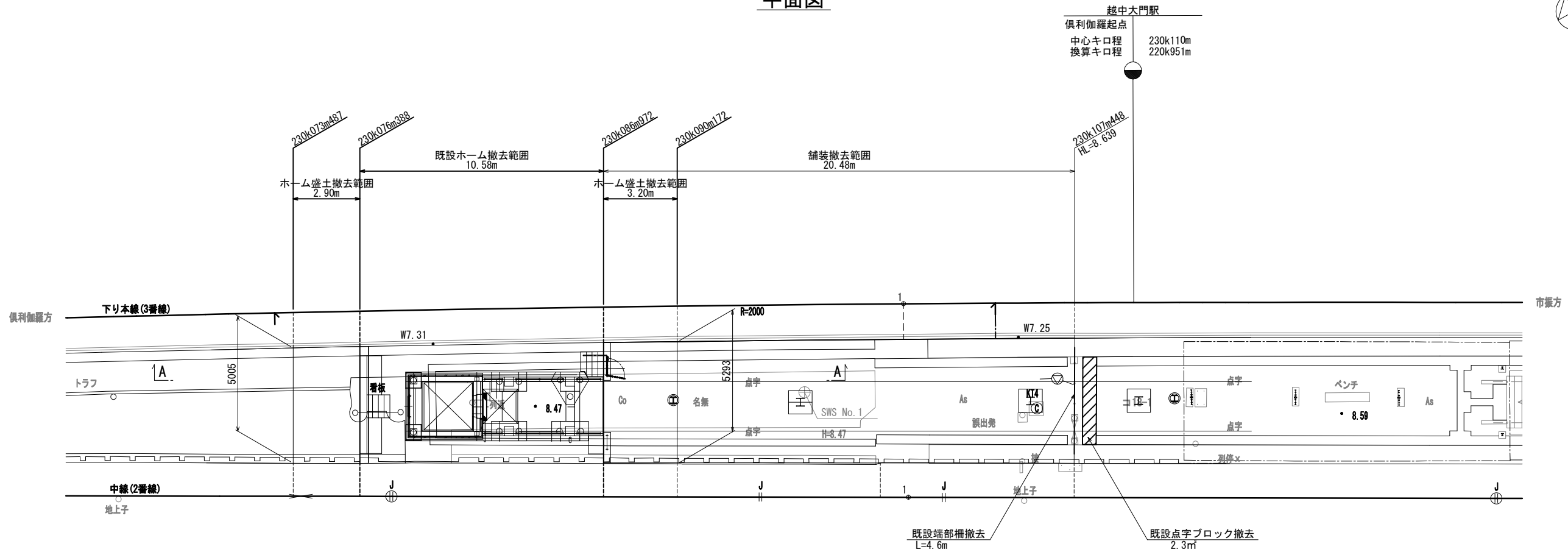
あいの風とやま鉄道株式会社

工 事 名 越中大門線橋2号新設他工事

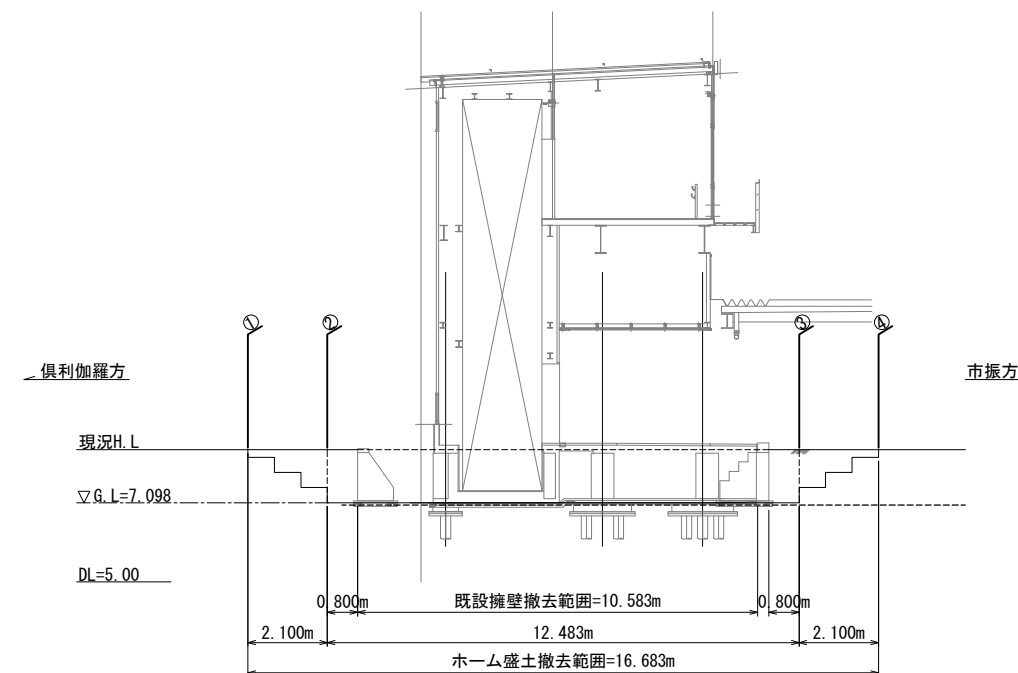
図 面 名 門扉参考図

SCALE A1:1/10 A3:1/20

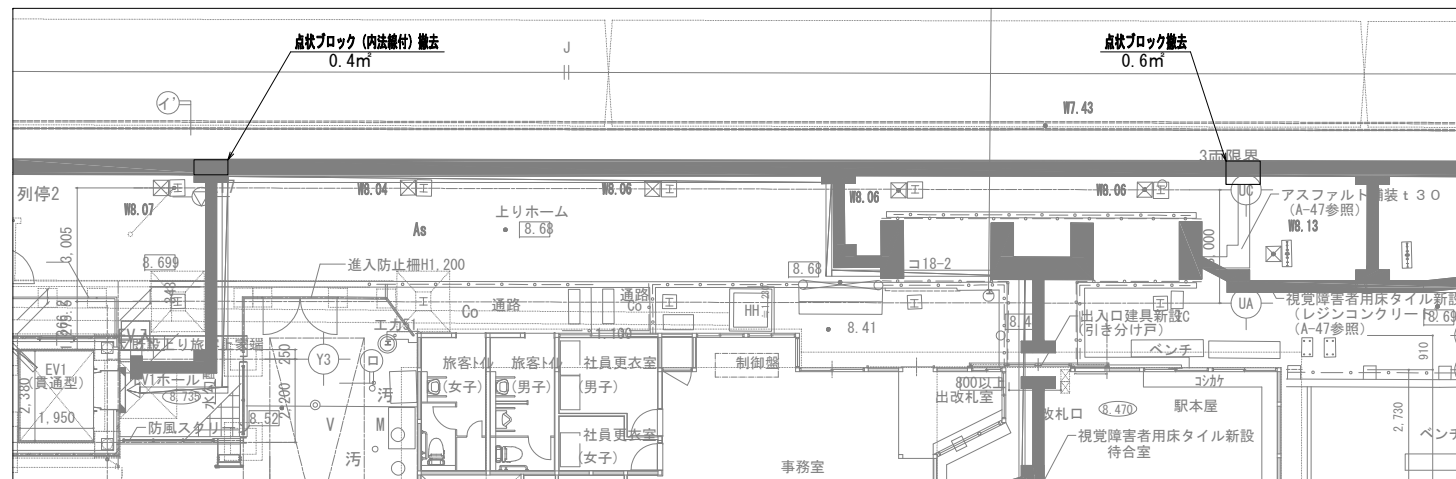
撤去一般図 S=1/00
平面図



断面 A-A



上りホーム平面図 S=1/100



特記			ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社		あいの風とやま鉄道株式会社	工事名	越中大門二線橋2号新設他工事			
						図面名	撤去一般図			
						SCALE	A1:1/100 A3:1/200			